

# Hip Joint news

## (公財) 日本股関節研究振興財団会報

URL <http://www.kokansetu.or.jp>  
E-mail info@kokansetu.or.jp

第3号 平成28年1月

発行 公益財団法人  
日本股関節研究振興財団  
〒154-0011  
東京都世田谷区上馬1-13-11  
電話 03-3421-6552  
FAX 03-3421-6716

## 頌春雜感

公益財団法人日本股関節研究振興財団

### 専務理事

泉田良一



頌春という言葉が好きで、この二十年来年賀に使わせていただいている。この頌という字は、辞書に依れば元々『詩経』の作品を風、雅、頌の体に分けた一つで、周の宗廟の祭祀にあたって奏され、先祖の功德をたたえる韻文であつたが、のち一般に人や物事をほめる内容の文章の一本をさすことになり、散文でも韻文でもつくられるようになつたとある(ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典)。

以前「モーツアルト頌」という全編モーツアルトの音楽を褒め称える言葉を並べただけの本があつて随分だなと思ったが、これが出版されるぐらいだから世の中にはモーツアルト狂?が大勢いるに違いない。自分は時々CDで極くポピュラーな曲を聴くぐらいなので、とてもその方々についてはいけないが、モーツアルトの「天上的音樂」を聴いていて、ふと京セラの稻盛和夫会長の「人間は神の領域に土足で上がり込んだりする」という言葉が思い浮かんだ。又聞きなので、これがどのような意図で発された言葉か分からぬが、生物学・医学の領域の事を考へると言

い得て妙としか言いようがない。

クローン羊ドリーの誕生からクローン人間作製の可能性、農作物の遺伝子操作などなど、ある意味凄い進歩だと思う。

しかし少し前になるが、人工授精で生まれた子が成人して、どうしても自分の真の父親が知りたいと、精子を提供したであろう某大学の卒業生の名簿からネットで顔写真を探して自分の顔写真と照合しているというニュースが流れた。いつたい探す方も、探される方も、そして育ての両親もどんな気がしているのだろうか。たったこれだけの親子関係でつまりしてしまう人間が、神の領域に上り込んで本当に大丈夫なのだろうか。

一方でこのような言葉がある。「本来のオラン・ウータンとしては、人間は古参に属する。歴史を持つオラン・ウータンとしては、かなりの新参者だ。生の体系のなかで、いかに振舞うべきかを習得する間のなかつた成り上がり者だ。」(「パンツをはいたサル」栗本慎一郎より)

## 役員名簿

理事長	別府諸兄	(聖マリナナンナ医科大学 名誉教授)
専務理事	泉田良一	(江戸川病院 慶友人工関節センター長)
理事	渥美敬	(佐々総合病院 名譽院長・股関節センター長)
	飯田寛和	(関西医科大学 教授)
	岩本幸英	(九州大学大学院 教授)
	大久保康一	(藤崎病院 副院長・整形外科部長)
	清家輝文	(編集工房ソシエタス 代表)
	高野紀美	(NPO法人のぞみ会 理事長)
	帖佐悦男	(宮崎大学 教授)
	富森浩二	(帝人ファーマ㈱ 在宅医療事業本部担当部長)
	内藤正俊	(福岡大学 教授)
	樋口富士男	(久留米大学 特命教授)
	安永裕司	(広島県立障害者リハビリテーションセンター副所長)
	下西惇夫	(元帝人㈱ 事業管理部長)
評議員	秋山治彦	(岐阜大学大学院 教授)
	石井千恵	(清心会藤沢病院企画調査室長)
	大谷卓也	(東京慈恵会医科大学 教授)
	大野誠	(日本体育大学大学院 教授)
	黒田龍彦	(旭化成ファーマ㈱ 医薬事業推進部 メディカルアフェアーズ 部長)
	一青勝雄	(江東病院・横浜鶴ヶ峰病院 非常勤医師)
	富田直秀	(京都大学大学院 教授)
	谷眞人	(日比谷見附法律事務所 所長・弁護士)
	別府裕美子	(メデカルフィットネス研究所 代表)
	本間生夫	(東京有明医療大学 副学長)
	間島直彦	(愛媛大学大学院 教授)
	山本謙吾	(東京医科大学 教授)
	米倉芳枝	(滋賀天産物研究所 監事)

# 平成27年度 股関節助成金 交付者決定

企業様からのご寄附と皆様からの「股関節らくらく募金」は、  
下記の助成金に使用されました。  
温かいご支援に、感謝いたします。



平成 27 年度股関節助成金交付者は、応募者 20 名に対し厳正な審査の結果、下記の 4 名に決定され、平成 27 年 10 月 29 日（木）、AP 大阪駅前梅田 1 丁目「E ルーム」にて交付式が行われました。

## 研究課題と交付者名簿（助成金額各 70 万円）

高齢発症変形性股関節症の疫学と病因に関する研究—骨粗鬆症の関与から、病態解明・予防に向けて—

鹿児島大学 石堂 康弘氏

滑膜由来炎症性メディエーターに着眼した前・初期股関節症における疼痛発生機序の解明

北里大学 福島 健介氏

人工股関節再置換術時骨欠損部における骨髓内骨再生技術の開発

大阪市立大学 大田 陽一氏

大腿骨頸部骨折受傷後に回復期リハビリテーション病棟に入院を要した要介護高齢者の身体機能予後について

東京大学 柴崎 浩二氏

## 第26回 股関節研究セミナー 開催

同日同会場にて、第 26 回股関節研究セミナーが開催され、平成 24 年度研究助成金による下記の 4 件の研究成果報告が行われました。 それぞれ、股関節研究にとって大変有意義な研究で、さらなる期待が持てる内容となりました。セミナー参加者は約 40 名、熱心な質疑応答が行われました。

報告 1 「抗菌作用を有するヨード担持チタン製人工股関節の臨床応用と骨固着性に関する基礎的研究」

金沢大学 加畠 多文氏

報告 2 「変形性関節症予防を目的とした関節軟骨変性とリンクする肥大軟骨細胞分化  
を制御する標的分子の同定と機能解析」

鹿児島大学 前田 真吾氏

報告 3 「高磁場 MRI を用いたステロイド性大腿骨頭壞死症の病態解明と新規予防法の検討」

京都府立医科大学 斎藤 正純氏

報告 4 「問診票を用いた一次健診システムの導入による先天性股関節脱臼症例 早期発見の取り組み」

新潟大学 村上 玲子氏



加畠多文先生



前田真吾先生



斎藤正純先生



村上玲子先生

# 第15回股関節市民フォーラムを開催いたしました。

11月3日（火）文化の日、「三茶しやれなあど」にて第15回股関節市民フォーラムを開催いたしました。この度のフォーラムは、新たな試みとして「栄養」を取り上げた「股関節の健康と栄養について」をテーマに3つの講演と実技を行いました。当日は、参加者約150名、大変熱心に参加されていました。

まず第1講演の「肝心要は股関節から」では、当財団の理事長別府諸兄が、股関節の部位・役割・そして重要性を丁寧に解説し、参加者の皆様より好評をえておりました。

2番目の講演「栄養から考えるロコモティブシンドローム」では、女子栄養大学の副学長としてご活躍されている香川靖雄先生が、栄養面から詳細にロコモティブシンドロームを紐解いていきました。講演では、ロコモティブシンドロームを防ぐには筋力や運動器の健康は当然のこと、それを保つための適切な栄養摂取（食事）と運動習慣が必要であり、またそれはメタボリックシンドローム防止にもつながるということでした。日々の食事の重要性を再認識させられる大変内容の濃い講演となりました。

3番目の講演「ロコモ予防の食事」では、女子栄養大学・栄養クリニックの教授の蒲池桂子先生が、より実践的なロコモ予防のメニューを具体的に解説されました。参加者の皆様も、料理法やメニューの作成等、生活に直結した話題ということで、非常に熱心に参加されていました。

4番目の実技では、当財団で運動指導を行っている太藻ゆみこ氏が、会場の皆様と一緒に「股関節長持ち体操」を行いました。エクササイズボールを用いた体操も実演し好評を得ていました。



蒲池桂子先生



香川靖雄先生

## 股関節Q&A（栄養編）

豆乳でカルシウム補給は十分ですか？

Q 1

やはり、豆乳と牛乳の半々を摂取していただきのが適当でしょう。また、牛乳が苦手な方は、チーズで代用していただくのがよいでしょう。チーズは、タンパク質の吸収にも優れた食品ですのでオススメです。

Q 2

葉酸は非常に重要な栄養素ですが、どこで入手できますか？

A 2

医師からの処方も行えますが、大変多い量となります。それ程の量は、必要ではありませんので、葉酸含有率の高い、海苔や緑色も濃い野菜を取られるのがよいでしょう。また、「葉酸米」という食品もネット・量販店等で、市販されています。

Q 3 日本食は、塩分が高めですが、いかがでしょうか？

A 3

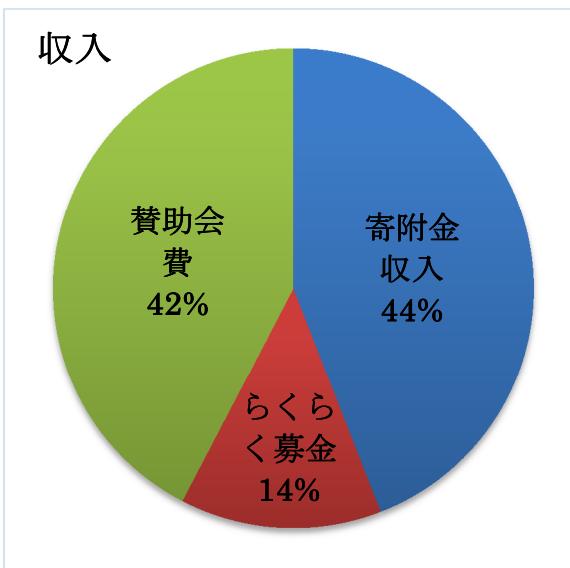
塩分をコントロールした日本食がオススメです。香味野菜・酢等の調味料をうまく使用し、尚且つ、下味をしつかりつけることで、食事をとる際に、余計に塩分を加える必要がなくなります。

女子栄養大学 副学長  
香川靖雄

香川靖雄



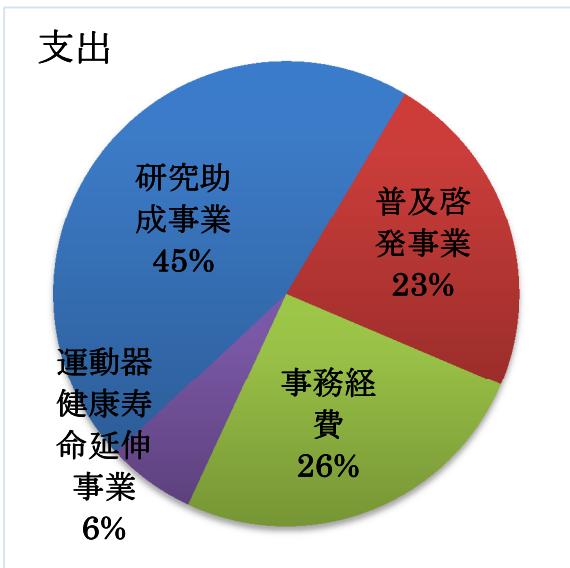
# 「寄附金・らくらく募金・贊助会費決算報告」



平成 26 年度に当財団が皆様からお預かりした寄附金・らくらく募金・贊助会費の総額は、13,391,000 円でした。そのうち 6,087,000 円が助成金として股関節の研究のため、3,062,000 円が普及啓発事業のため、822,000 円が運動器健康寿命延伸事業のため、3,420,000 円が事務経費となり、財団の活動に大きく貢献する結果となっています。

収入	金額 (円)
寄附金	5,904,000
らくらく募金	1,814,000
贊助会費	5,673,000
合計	13,391,000

※1,000 円以下四捨五入



※普及啓発事業の主な事業は、市民フォーラムです。  
運動器健康寿命延伸事業の主な事業は、運動器健康寿命延伸体操(ロコモン体操)講習会です。

事業名	金額 (円)
研究助成事業	6,087,000
普及啓発事業	3,062,000
運動器健康寿命延伸事業	822,000
事務経費	3,420,000
合計	13,391,000

※1,000 円以下四捨五入

## 書籍のご紹介

この度、当財団の伊丹康人名誉理事長が、三十有余年にわたり書き綴った「健康哲学」が、財団創設 30 年を機に、遂に発刊されました。

### 「病で死ぬな枯れて死ね」

－ 101 歳の整形外科医が語る老後幸福論－

著書 伊丹康人

(公益財団法人日本股関節研究振興財団 名誉理事長)

定価 本体 1,500 円 + 税  
ISBN978-4-9908815-0-4 C0095

発行・お問合せ先 メディカルフィットネス研究所

所在地 : 〒157-0076 東京都世田谷区岡本 3-6-13

TEL/FAX : 03-3416-4366

E-mail : medfit@hs.catv.ne.jp

